

# 衆議院文部科学委員会ニュース

平成 29. 4. 28 第 193 回国会第 13 号

4 月 28 日（金）、第 13 回の委員会が開かれました。

## 1 学校教育法の一部を改正する法律案（内閣提出第 56 号）

- ・松野文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・大平喜信君（共産）、吉川元君（社民）が討論を行いました。
- ・原案について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成一自民、民進、公明、維新、長島昭久君（無） 反対—共産、社民）
- ・前田一男君外 3 名（自民、民進、公明、維新）から提出された附帯決議案について、坂本祐之輔君（民進）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。  
（賛成一自民、民進、公明、維新、長島昭久君（無） 反対—共産、社民）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 太田和美君（民進）

- ・千葉県我孫子市で小 3 女兒が殺害された事件は、本来であれば信頼すべき人物による犯罪であり、従来の地域全体で子供を見守る体制について懸念が示されることとなったが、今後の対策について、松野大臣に伺いたい。
- ・既に現在の高等教育機関において職業教育が可能となっているにもかかわらず、専門職大学及び専門職短期大学（以下「専門職大学等」という。）という新たな学校を制度化する意義と教育の質の確保について、松野大臣に伺いたい。
- ・職業教育が普通教育より一段低く見られる社会的風潮があるが、専門職大学等の制度化によりその風潮はどのように変化するのか、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・専門職大学等の制度化について、保護者や生徒などに文部科学省としてどのような周知方法を検討しているのか、松野大臣に伺いたい。

### 坂本祐之輔君（民進）

- ・山本地方創生担当大臣の「一番のガンが、文化学芸員」という不適切発言について、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・専門職大学等の教育課程について、企業側が受け入れやすい実習内容や実習期間などの環境整備が必要であると考えているが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・専門職大学等の制度化により、私立大学等経常費補助金（以下「私学助成」という。）の対象が増加すると予想されるが、必要予算の確保について、文部科学省の見解を伺いたい。

- ・専門職大学等が新たな天下り先にならないよう、文部科学省としての対応について、松野大臣に伺いたい。

### 大平喜信君（共産）

- ・専門職大学等の設置基準を過度に弾力化することによってその教育の質を下げってしまう懸念があるが、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・中央教育審議会答申において示された専門職大学等の具体的な制度設計は、既存の高等教育機関においても実現が可能であると考えているが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・地域間の大学進学率格差を是正するためには、私学助成の抜本的な充実が必要であると考えているが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・去る 4 月 25 日に行われた経済財政諮問会議における国公私設置者の枠を超えた大学再編などが必要であるとの意見について、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・職業教育の推進は、既存の専門学校等への支援を充実することにより実現すべきであると考えているが、松野大臣の見解を伺いたい。

### 伊東信久君（維新）

- ・社会人や留学生等の多様な学生を受入れるために、専門職大学等ではどのような体制を構築するのか、文部科学省に伺いたい。
- ・地域の実情に応じた人材育成を行うために地方公共団体との連携が必要だと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・我が国における国家資格フレームワーク（NQF）の

導入に向けた検討状況について、厚生労働省に伺いたい。

## **吉川 元君（社民）**

- ・専門職大学等に対する財政的支援については、既存の私学助成とは違う枠組みを創設する必要があると考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・経済財政諮問会議が示した私学助成の歳出抑制や東京23区内における大学学部の新增設抑制等の方向性と、本法律案による専門職大学等の制度化は整合性が取れておらず矛盾するのではないかと考えるが、松野大臣に伺いたい。
- ・専門職大学等の制度化・創設に当たって、制度を必要とする立法事実の具体的内容について、松野大臣に伺いたい。